

THE RECORD

RIAJ 社団法人 日本レコード協会

平成6年4月1日発行

RECORDING INDUSTRY ASSOCIATION OF JAPAN 〒104 東京都中央区築地2-8-9 Tel (3541)4411(代)

平成6年4月号 No. 413

第8回日本ゴールドディスク大賞 授賞式行わる

当協会主催の第8回日本ゴールドディスク大賞の授賞セレモニーが、3月3日、東京・渋谷のNHKホールに於て、盛大に行われました。

セレモニーは、まず、過去7回までの邦楽の日本ゴールドディスク大賞を受賞したアーティストの紹介から、1993年のニュースを取り纏めたビデオの後、今回グランプリ・ニュー・アーティスト賞を受賞したtrfによるオープニングアクトに続いて司会の赤坂泰彦さん・つみきみほさんが登場して始まり、石田ひ

かりさん、ルビー・モレノさん、小野正利さん、今回の受賞者からT-SQUAREの方々がプレゼンターとなつて各賞の発表・授賞が行われました。

今年も昨年同様、受賞者によるライブ演奏が行われ、前記のtrf、SNOW、THE虎舞竜、山根康広藤あや子、堀内孝雄の皆さんと、洋楽グランプリ・ニュー・アーティスト賞受賞のSNOWがこの授賞式の為に来日し熱演を繰り上げました。

また、洋楽グランプリ・シングル賞他受賞の「アラジン」のサントラから、アニメーションのキャラクターであるアラジン、ジャスミン、ジニー（ランパの精）が登場し、ディズニールランドのアトラクションさながらの幻想的なステージを披露しました。

なお、この授賞セレモニーの様子は3月5日（土）はNHK総合テレビにて、3月6日（日）にはニッポン放送にてオンエアされました。



trfのライブ



アラジンのステージ



フィナーレ

会 長 交 替 ご 挨拶



松尾修吾

昨今の経済情勢をみたとき、明るさの兆しを予見する内容も散見されるものの、業界を取り巻く環境の厳しさは決して楽観できるものではありません。この度、皆様のご推挙を頂き、日本レコード協会会長の重責を担うことになりましたが、景気停滞局面のもとにレコード業界の直面する数々の重要問題と対応策に思いを巡らせ、責任の重さを痛感しております。

CDが世の中に登場して今年で12年目を迎えます。その間、DATが開発され、更に一昨年には新たなデジタルメディアとして、ミニ・ディスク、デジタル・コンパクト・カセットが登場しました。このような急速な技術革新の流れの中で、レコード業界にとっては新たなビジネスチャンスが生じ、消費者に対しては高品質、高付加価値商品を提供することが可能となりました。しかしその反面、従来の諸制度の見直しを強く迫られる契機となったことも事実です。一昨年、著作権法の一部改正により、私的録音・録画に対する補償金制度が導入されました。このことは、権利者として誠に喜ばしいことであります。しかし、技術革新の波は止まることなく更に勢いを増して次から次へと押し寄せてきております。特にデジタル技術の急速な進歩による、衛星デジタル音楽放送、光ファイバーによるデジタル

導入のための著作権法改正が行われ、関係各位の15年に及ぶご尽力が実を結びました。

平成5年3月には、アジア諸国間の音楽文化の交流を促進し、これを世界市場に展開することによって、音楽産業・音楽文化の向上・発展に資するという大きな目的のために「音楽産業・文化振興財団」を設立し、活動を開始することができました。

歴史のこともうべきこれらの問題を解決すべき当事者であったことは、むしろ幸せであったかも知れません。しかしながら、積み残した問題も数多くあります。CD-R、CD-Eなどの新たな録音・録画機器に関する問題、光ファイバーや衛星を経て配送されるデジタル伝送に関する仕組みや法制の問題などが目の前にあります。心中忸怩たるものがありますが、これらの問題は新会長の手に委ねたいと思っております。最後になりましたが、皆様のご健康とご発展を祈念して退任の挨拶とさせていただきます。

音楽送信、CD-R等の出現は、いずれも現行の諸制度のままではレコード製作者の基盤そのものを脅かしかねないと認識せねばなりません。

技術の進歩が続く限り、永遠のテーマではありませんが次の時代に対応した著作権制度の整備充実、保護思想の確立など、レコード製作者の基盤を確保し権益を拡充するための活動が最大の課題であると考えます。昨今のWIPOの活動が占めるわが国の役割に象徴される国際的な流れも充分考慮し、課題に取り組みたいと考えます。またレコード業界の活性化を図る需要拡大事業を始め、取り組むべき課題は多岐に渡りますが、会員各社が問題を共有し、積極的に意見を持ち寄り、常に前進する日本レコード協会でありたいと考えます。

乙骨前会長のご指導により、日本レコード協会は果敢な発言と敏速な行動により関係諸法令の改正を始めとし多大な成果を納めることができました。乙骨前会長のご努力とご指導力に、心から敬意と感謝を表したいと存じます。私も微力ながら、レコード産業の一層の発展を使命とし全力を尽くしたいと考えております。皆様の引き続きのご支援をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。



乙骨剛

日本レコード協会会長に就任以来、早くも任期の二年が経過致しました。曲がりなりにも任務を全うすることができましたのは、偏に、副会長、理事各位および協会事務局スタッフを始め、関係各団体の皆様方のご協力とご支援の賜物と深く感謝いたしております。

顧みまずと、奇しくも日本レコード協会創立50周年に当たる年に就任し、音楽著作権シンポジウム開催、大学への著作権講座の寄付、50年史の編纂などの記念事業を企画し、皆様のご支援を得て、成功裡に展開することができました。就任直後の平成4年4月には、問題とされていた音楽用CD等の再販制度が法改正によって対応されることとなりましたが、公正取引委員会の要請を受けて、時限再販の導入、廃盤セールの実施、小売価格の引き下げに取り組むことになりました。幸いにして、加盟各社のご努力によりこれらの難問も乗り越えることができました。

この年の年末には、私的録音・録画に関する補償金制度

導入のための著作権法改正が行われ、関係各位の15年に及ぶご尽力が実を結びました。

平成5年3月には、アジア諸国間の音楽文化の交流を促進し、これを世界市場に展開することによって、音楽産業・音楽文化の向上・発展に資するという大きな目的のために「音楽産業・文化振興財団」を設立し、活動を開始することができました。

歴史のこともうべきこれらの問題を解決すべき当事者であったことは、むしろ幸せであったかも知れません。しかしながら、積み残した問題も数多くあります。CD-R、CD-Eなどの新たな録音・録画機器に関する問題、光ファイバーや衛星を経て配送されるデジタル伝送に関する仕組みや法制の問題などが目の前にあります。心中忸怩たるものがありますが、これらの問題は新会長の手に委ねたいと思っております。最後になりましたが、皆様のご健康とご発展を祈念して退任の挨拶とさせていただきます。

音楽送信、CD-R等の出現は、いずれも現行の諸制度のままではレコード製作者の基盤そのものを脅かしかねないと認識せねばなりません。

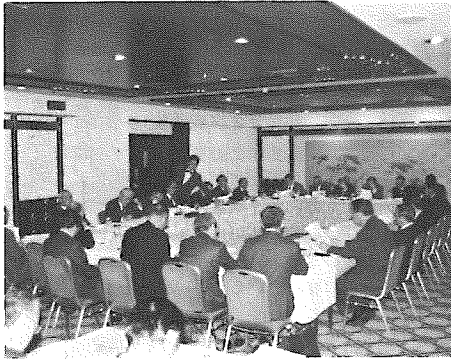
技術の進歩が続く限り、永遠のテーマではありませんが次の時代に対応した著作権制度の整備充実、保護思想の確立など、レコード製作者の基盤を確保し権益を拡充するための活動が最大の課題であると考えます。昨今のWIPOの活動が占めるわが国の役割に象徴される国際的な流れも充分考慮し、課題に取り組みたいと考えます。またレコード業界の活性化を図る需要拡大事業を始め、取り組むべき課題は多岐に渡りますが、会員各社が問題を共有し、積極的に意見を持ち寄り、常に前進する日本レコード協会でありたいと考えます。

乙骨前会長のご指導により、日本レコード協会は果敢な発言と敏速な行動により関係諸法令の改正を始めとし多大な成果を納めることができました。乙骨前会長のご努力とご指導力に、心から敬意と感謝を表したいと存じます。私も微力ながら、レコード産業の一層の発展を使命とし全力を尽くしたいと考えております。皆様の引き続きのご支援をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

第96回通常総会開催

当協会は、2月25日、東京・永田町のキャピトル東急ホテルにおいて第96回の通常総会を開き、平成6年度の事業計画および予算案を審議し、いずれも原案どおり承認されました。つづいて、平成6年度以降の役員、会長・理事・監事を選任しました。また、3月25日開催の理事会において、新会長の指名により、副会長、専務理事、常務理事が選任されました。

新役員は次ぎのとおり。
 会長 松尾 修 吾
 副会長 出口 彬
 副会長 伊地知 彬



音楽産業・文化振興財団の専務理事退任

財団法人音楽産業・文化振興財団の山下邦夫専務理事は、3月31日をもって退任されました。

新専務理事には元東芝EMI広報部長の杉山暢夫氏が選任されました。

副会長	新田 和宏
理事	高野 頌夫
理事	池口 頌夫
理事	桑田 信之
理事	笠原 壮夫
理事	乙骨 剛
理事	齋藤 昇
理事	徳間 康快
理事	折田 育造
理事	山科 由誠
理事	後藤 恒加
理事	早川 健夫
理事	細川 恒夫
理事	佐藤 修
理事	野田 隆一
監事	アレクサンダー・アブラモフ
監事	上出 卓
専務理事	加藤 郁夫
事務局長	木村 三郎

芸術作品賞の授賞式

去る3月17日、東京・上野の日本芸術院会館において、平成5年度の「文化庁芸術作品賞」授賞式が行われ、赤松良子文部大臣から賞状および賞金が授与されました。レコード部門では、一部13作品、二部27作品の併せて40作品の申請がありました。次頁の4作品が受賞の栄に輝きました。



受賞される桑田ティエック社長、宮川コロムビア専務、出口ビクターエンタテインメント社長（右から）

会議メモ (主なもの)

(3月1日～3月31日)

- | | | |
|---------------------|-----------------------|----------------|
| 3・1 労政部会 | 3・9 邦楽制作部会旧音源活用プロジェクト | 3・16 情報システム部会 |
| 3・1 GD大賞実務担当者グループ会議 | 3・10 レコード制作基準倫理委員会 | 3・17 洋楽部会 |
| 3・8 営業部会 | 3・10 エキスパート会議 | 3・18 邦楽制作部会 |
| 3・9 著作権部会幹事会 | 3・14 需要拡大委員会 | 3・23 洋楽宣伝専門部会 |
| 3・9 情報システム部会小委員会 | 3・14 技術委員会幹事会 | 3・23 臨時営業部会 |
| | 3・15 二次使用料委員会 | 3・23 Q盤プロジェクト |
| | 3・15 Q盤プロジェクト | 3・24 ビデオ部会 |
| | 3・15 CD-R原案作成委員会 | 3・24 法制委員会 |
| | 3・16 業務委員会 | 3・25 理事会 |
| | | 3・25 GD大賞拡大幹事会 |

(一部) (邦楽系音楽等)



「魂の歌 西松文一の地唄」

テイチク株式会社

地唄舞のために演奏を続けて、平成元年に82歳でなくなった西松文一の活動を、さまざまな音源から集めた27曲で記録したもの。舞でよく使われる曲目とともに、西松が得意としていた語りの要素の濃い作品も収められていて、地唄（地歌）という音楽様式の豊かさや魅力を伝える貴重なレコードになっている。

(二部) (洋楽系音楽等)



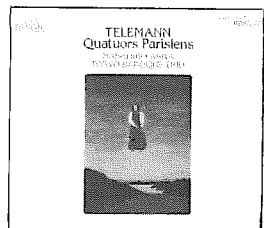
「現代日本のヴァイオリン音楽・抄/天満敦子」

株式会社アート・ユニオン

現代日本の作品紹介に情熱を傾注する天満敦子が、日頃の演奏を通じて心に温めてきた作品たちへむける愛と共感のまなざし。その類いまれな音の美しさと結晶化された表現力は、日本のヴァイオリン曲ならではの世界を伝えて忘れ難い。録音、企画とも秀抜である。

「テレマン：バリ四重奏曲集」

日本コロムビア株式会社



トラヴェルソ奏者有田正広と新進気鋭のトーキョー・バロ・トリオく寺神戸亮、上村かおり、クリストフ・ルセ>の初顔合わせで、テレマンの進取の気質に溢れる音塑像が優雅に鮮やか甦った。昨今の古典興隆の最良の果実として、世界に問うことのできる演奏である。

「千住真理子/イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ(全曲)」

ビクターエンタテインメント株式会社



千住真理子の演奏家としての新生面を示す鮮烈の力演。曲は大ヴァイオリニストのイザイが、尊敬する同僚や愛弟子に捧げただけに定評ある難曲だが、解釈は知的で精緻、技巧の洗練で、親しみやすく変身させた演奏ぶり、細部の明瞭な録音、いずれも優秀である。

〔審査の概要〕

今年度の一部(邦楽系)は前年度(11本)より多く12本、二部(洋楽系)も前年度(25本)より多い27本

だった。この37本から7名の審査員の慎重討議により、一部の「魂の歌 西松文一の地唄」(テイチク)、二部の「ヴァイオリン音楽・抄/天満敦

子」(アート・ユニオン)、「テレマン バリ四重奏曲」(日本コロムビア)、「千住真理子/イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ(全曲)」(ビク

ターエンタテインメント)の4作品を授賞作として選出した。

ただし、授賞4本という狭い枠な品にも注目に値するものはかなりあった。「音楽をつくる」(日本コロムビア)、「岡本文弥 新内ぶし特集」(テイチク)、「エモシオン・パッハ作品集」(ファンハウス)などがそうである。その反面で、かねてから指摘されていた傾向ではあるが、前記の「音楽をつくる」、「邦楽器によるロシア音楽/ロシア民謡・剣の舞」(日本クラウン)、「夕日とハドソン」(エム音楽企画)のように、一部に属する作品なのか二部のものなのか判断しかねることもあった。いわば一部と二部の両方にまたがっているような性格のものとか、この両者の境界線上にあるともいえる作品が目だってきたのである。もちろんこの現象は決して悪いことではなく、むしろ創作活動を拡大するという意味もあって歓迎すべきことであろう。そうしたこと、この一部と二部の扱いをどうするかが今後の検討課題の一つとなっている。

今年度の参加作品では、一部は概していえば例年より低調な水準で、二部では企画や演奏に弱点があるものも認められた。

日本レコード協会ヒットチャートデータによるランキング

平成6年2月度(1月21日~2月20日)のヒットチャートデータがまとまりました。これによる各ランクの5位までは次のとおりです。

順位	タイトル	アーティスト	発売元
■邦楽・洋楽合同シングル5位			
1.	Don't Leave Me	B'z	(BM)
2.	OH MY LITTLE GIRL	尾崎 豊	(SME)
3.	この愛に泳ぎ疲れても/BOY	ZARD	(BG)
4.	白い Gradation	大黒摩季	(BG)
5.	ただ泣きたくなるの	中山美穂	(K)
■洋楽シングル5位			
1.	オール・フォー・ラヴ	ブライアン・アダムス,ロッド・ステュワート,ステイニング	(PO)
2.	セイヴ・ザ・ベスト・フォー・ラスト	ヴァネッサ・ウィリアムス	(PO)
3.	オールウェイズ・ラブ・ユー	ホイットニー・ヒューストン	(BV)
4.	イエスタデイ・ワンス・モア	カーペンターズ	(PO)
5.	ゴー・ウエスト	ベット・シヨップ・ボーイズ	(TO)
■邦楽・洋楽合同アルバム5位			
1.	WORLD GROOVE	trf	(AV)
2.	Cloudy Heart	吉川晃司	(TO)
3.	十七歳の地図	尾崎 豊	(SME)
4.	NOW! I	UB 40,レニー・クラヴィッツ 他	(TO)
5.	THE SWINGING STAR	Dreams Come True	(SME)
■クラシックアルバム5位			
1.	天国への階段	大竹しのぶ	(BV)
2.	ジャパン・ヴィルトーゾ・オーケストラ・白熱の記	大友直人指揮	(SME)
3.	アンコール! ~ヴァイオリン愛奏曲~	五嶋みどり	(SME)
4.	バルトーク: 管弦楽のための協奏曲 52.116	ブルーレス指揮, シカゴ交響楽団	(PO)
5.	モーツァルト: 2台のピアノのためのソナタ	マレイ・ペライア (p), ラドウ・ルブー (p)	(SME)
■洋楽アルバム5位			
1.	NOW! I	UB 40,レニー・クラヴィッツ 他	(TO)
2.	セヴンス・サイン	イングヴェイ・マルムスティーン	(PC)
3.	Music Box	マライア・キャリー	(SME)
4.	オール・ザット・シー・ウォンツ	エイズ・オブ・ベイス	(BV)
5.	コンフォート・ゾーン	ヴァネッサ・ウィリアムス	(PO)

※日本コロムビア(C)/ビクターエンタテインメント(V)/キングレコード(K)/テイチク(TE)/ポリドール(PO)/東芝EMI(TO)/日本クラウン(CR)/徳間ジャパン(TK)/ソニー・ミュージックエンタテインメント(SME)/日本フォノグラム(PH)/ボニー・キャニオン(PC)/ワーナーミュージック・ジャパン(WJ)/アポロン(AP)/フォーライフレコード(FL)/バップ(VAP)/トランスレコード(TA)/ポリスター(PS)/アルファレコード(AL)/キティエンタープライズ(KT)/ファンハウス(FUN)/イーストウエスト・ジャパン(EW)/BMGビクター(BV)/NECアベニュー(NA)/WEAミュージック(WEA)/メルダック(ME)/ハミングバード(HB)/TDKコア(TDK)/メディアモラス(MR)/AXEC(AX)/トイズ・ファクトリー・レコード(TF)/バンダイ(BC)/パイオニアLDC(P)/MCAビクター(MV)/ロッキングレコード(RO)/エイベックス・ディー・ター(AV)/ピージーン(BJ)/ヴァインレコード(ZA)/BMGルーミス(BM)/ビーグラム(BG)/ワン・アップ・ミュージック(EP)

2月度「ゴールド・アルバム」他認定作品

2月度のゴールド・アルバム他が次のとおり認定されました。

■アルバム(22作品)

- 2ミリオン
時の扉/WANDS(TO)
- クワドラプル・プラチナ
MUSIC BOX/マライア・キャリー(SME)
- ミリオン
十七歳の地図/尾崎豊(SME)
HEART OF STONE/T-BOLAN(ZA)
- ダブル・プラチナ
Calling/福山雅治(BV)
DA DA DA/大黒摩季(BG)
NOW! I/クイーン他(TO)
ユーズ・ユア・イリュージョン I/ガンズ・アンド・ローゼズ(MV)
- プラチナ
SUCCESS STORY/広瀬香美(V)
WORLD GROOVE/trf(AV)
janet./ジャネット・ジャクソン(TO)
1967年~1970年/ザ・ビートルズ(TO)
アラジン・オリジナル・モーションピクチャー・サウンドトラック/アラッド・ケーン&リー・サロంగా他(PC)
自由への疾走/レニー・クラヴィッツ(TO)
- ゴールド
WORST~聖飢魔II極鳴集大成教典(ベスト)/聖飢魔II(SME)
Cloudy Heart/吉川晃司(TO)
コンフォート・ゾーン/ヴァネッサ・ウィリアムス(PO)
セヴンス・サイン/イングヴェイ・マルムスティーン(PC)
GN'Rライズ/ガンズ・アンド・ローゼズ(MV)
イエスタデイ・ワンス・モア/カーペンターズ(PO)
ニューヨーク52番街/ビリー・ジョエル(SME)
オール・ザット・シー・ウォンツ/エイズ・オブ・ベイス(BV)

■シングル(25作品)

- クワドラプル・プラチナ
エロティカ・セブン/サザンオールスターズ(V)
- トリプル・プラチナ
Don't Leave Me/B'z(BM)
ロマンスの神様/広瀬香美(V)
揺れる想い/ZARD(BG)
- ミリオン
あなただけ見つめてる/大黒摩季(BG)
夏の日1993/class(AP)
- ダブル・プラチナ
WINTER SONG/DREAMS COME TRUE(SME)
OH MY LITTLE GIRL/尾崎豊(SME)
チャット/君に愛されるそのために.../大黒摩季(TO)
この愛に泳ぎ疲れても/BOY/ZARD(BG)
- プラチナ
CROSS ROAD/MR. CHILDREN(TF)
ただ泣きたくなるの/中山美穂(K)
「男」/久宝留理子(SME)
オラはにんきもの/のはらしんのすけ(WJ)
白い Gradation/大黒摩季(BG)
- ゴールド
My Sweet Home/小泉今日子(V)
気分爽快/森高千里(WJ)
ラストソング/吉岡秀隆(PC)
夢を見たいから/access(FUN)
DICE/hide(MV)
愛は愛で/江口洋介(FL)
君色思い/SMAP(V)
忘れない/風の住む星/西脇唯(K)
あの時のように/永遠の約束/山根康広(CR)
もう誰の目も気にしない/MANISH(ZA)

世界の話題

第36回グラミー賞受賞者リスト(上)

最優秀楽曲賞

「ホール・ニュー・ワールド」ピーボ・ブライソン & レジーナ・ベル、A.メンゲン、T.ライス

最優秀レコード賞 (シングル)

「オールウェイズ・ラブ・ユー」ホイットニー・ヒューストン

最優秀アルバム賞

「ボディー・ガード」ホイットニー・ヒューストン、デヴィット・フォスター他

最優秀新人賞

トニー・ブラックストン

最優秀プロデューサー (ノン・クラシカル)

デヴィット・フォスター

<ポップス>

最優秀ポップ女性ボーカル (シングル)

「オールウェイズ・ラブ・ユー」ホイットニー・ヒューストン

最優秀ポップ男性ボーカル (シングル)

「ルーズ・マイ・フェイス・イン・ユー」ステイニング

最優秀ポップ・デュオ/グループ (ボーカルつき)

「ホール・ニュー・ワールド」ピーボ・ブライソン & レジーナ・ベル

最優秀ポップ・インストゥルメンタル

「ステッピン・アウト」トニー・ベネット

最優秀トラディショナル・ポップ

「Barcelona Mona」Bruce Hornsby & Branford Marsalis

<ロック>

最優秀ロック楽曲賞

「ラナウェイ・トレイン」ソウル・アサイラム、デヴィット・バーナー

最優秀ロック・ボーカル

「愛にすべてを」ミートローフ

最優秀ロック・デュオ/グループ (ボーカルつき)

「リビン・オン・ジ・エッジ」エアロスミス

最優秀ハード・ロック (ボーカルつき) (シングル)

「ブラシ」ストーン・テンブル・パイロッツ

最優秀ロック・インストゥルメンタル (シングル)

「Sofa」Zappa's Universe feat. Steve Vai

最優秀ヘビー・メタル (アルバム)

「アイ・ドント・ウォント・トゥ・チャンジ・ザ・ワールド」オジー・オズボーン

<オルタナティブ>

最優秀オルタナティブ・ミュージック・アルバム

「ズーロッパ」U2

<R & B>

最優秀R & B楽曲賞 (シングル)

「それが愛というものだから」ジャネット・ジャクソン、ジェームス・ハリス、テリー・ルイス

最優秀R & B女性ボーカル

「熱い吐息」トニー・ブラックストン

最優秀R & B男性ボーカル

「ア・ソング・フォー・ユー」レイ・チャールズ

最優秀R & Bデュオ/グループ (ボーカルつき)

「ノー・オーディナリー・ラブ」シャーデー <ブルース>

最優秀トラディショナル・ブルース・アルバム

「ブルース・サミット」B. B. キング

最優秀コンテンポラリー・ブルース・アルバム

「フィールズ・ライク・レイン/バディ・ガイ <ゴスペル>

最優秀ポップ・ゴスペル・アルバム

「The Live Adventure」Steven Curtis Champion

最優秀ロック・コンテンポラリー・ゴスペル・アルバム

「Free At Last」DC Talk

最優秀サザン・ゴスペル・アルバム

「Good News」Kathy Mattea

最優秀コンテンポラリー・ソウル・ゴスペル・アルバム

「オール・アウト」ワイナンス

最優秀カントリー・ソウル・ゴスペル・アルバム

「Stand Still」Sharley Ceasar

最優秀ゴスペル・アルバム (聖歌隊・合唱団)

「Live...We Come Rejoicing」

Brooklyn Tabernacle Choir

<カントリー>

最優秀カントリー楽曲賞

「Passion Kisses」Lucinda Williams

最優秀カントリー女性ボーカル

「パッション・キス」メアリー・チェイピン・カーペンター

最優秀カントリー男性ボーカル

「エイント・ザット・ロンリー・イエット」ドワイト・ヨーカム

最優秀カントリー・デュオ・グループ (ボーカル)

「ハード・ワーキング・マン」ブラックス&ダン

最優秀カントリー・ボーカル・コラボレーション

「Does He Love You」Reba McEntire & Linda Davis

最優秀カントリー・インストゥルメンタル(アルバム)

「Red Wing」Asleep At The Wheel

<ブルーグラス>

最優秀ブルーグラス・アルバム

「Waitin' For The Hard Times To Go」

The Nashville Bluegrass Band

<フォーク>

最優秀トラディショナル・フォーク・アルバム

「ケルティック・ハーブ」チーフタンズ

最優秀コンテポラリー・フォーク・アルバム

「Other Voices, Other Rooms」Nanci Griffith <ラップ>

最優秀ラップ・ソロ (シングル)

「レット・ミー・ライド」ドクター・ドレー

最優秀ラップ・デュオ/グループ (シングル)

「リバース・オブ・スリック (クール・ライク・ザット)」ディゲブル・プラネット

<ラテン>

最優秀ラテン・ポップ・アルバム

「アリエス」ルイス・ミゲール

(以下次号)

1994年 2月レコード生産実績

数量：千枚・巻

単位

金額：百万円

表1. オーディオディスク

	2月			実績			1994年(1月~2月)			累計			
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
C	邦洋計	10,686	37	73	7,513	20	80	21,479	41	88	14,518	22	93
	8センチ	281	1	70	179	0	73	397	1	59	249	0	60
D	邦洋計	10,967	38	73	7,692	20	80	21,876	42	88	14,767	23	93
	12センチ	12,130	42	126	21,536	57	130	20,039	38	110	34,249	53	108
	邦洋計	5,505	19	103	8,263	22	101	10,374	20	106	15,383	24	102
	小計	17,635	62	118	29,799	79	120	30,413	58	108	49,633	77	106
アナログ	邦洋計	22,816	80	94	29,049	77	112	41,518	79	98	48,767	76	103
	邦洋計	5,786	20	100	8,442	22	100	10,771	21	103	15,632	24	101
合計	邦洋計	28,602	100	95	37,491	100	109	52,289	100	99	64,399	100	103
	邦洋計	5	0	97	6	0	87	45	0	764	57	0	786
アナログ	邦洋計	54	0	52	85	0	40	72	0	43	119	0	36
	邦洋計	59	0	54	91	0	41	116	0	68	176	0	52
合計	邦洋計	22,821	80	94	29,055	77	112	41,563	79	98	48,824	76	103
	邦洋計	5,840	20	100	8,527	23	99	10,842	21	102	15,751	24	100
合計	邦洋計	28,661	100	95	37,582	100	109	52,405	100	98	64,575	100	103

表2. オーディオテープ

	2月			実績			1994年(1月~2月)			累計			
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
カセット	邦洋計	2,086	99	78	1,758	98	88	4,209	99	83	3,642	98	88
	邦洋計	22	1	51	28	2	46	64	1	65	70	2	56
カートリッジ	邦洋計	2,108	100	77	1,786	100	87	4,273	100	83	3,712	100	87
	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	邦洋計	2,086	99	78	1,758	98	88	4,209	99	83	3,642	98	88
	邦洋計	22	1	51	28	2	46	64	1	65	70	2	56
合計	邦洋計	2,108	100	77	1,786	100	87	4,273	100	83	3,712	100	87

表3. 複合型CD (CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど)

	2月			実績			1994年(1月~2月)			累計		
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦洋計	1,016	100	246	981	100	200	2,001	100	251	1,975	100	227
洋盤	0	0	1	0	0	6	0	0	1	0	0	5
合計	1,016	100	232	981	100	197	2,001	100	243	1,975	100	225

表4. ビデオレコード

	2月			実績			1994年(1月~2月)			累計		
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	1,433	49	106	4,783	45	99	2,595	50	102	8,215	44	92
テープ	1,502	51	131	5,739	55	118	2,569	50	130	10,437	56	120
合計	2,935	100	118	10,522	100	109	5,164	100	114	18,653	100	106

備考 1. 本年実績は、会員会社「27社」の集計である。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

オーディオディスクレコードの輸出入実績

本号は、CDの最近4年間の輸出入実績を図で表わし、アナログディスクとCDの輸出入実績（最近5年間）と1993年の地域別輸出入実績を表で紹介いたします。資料：大蔵省関税局「日本貿易統計」（通関実績）から。

図1 CD輸出入金額の推移

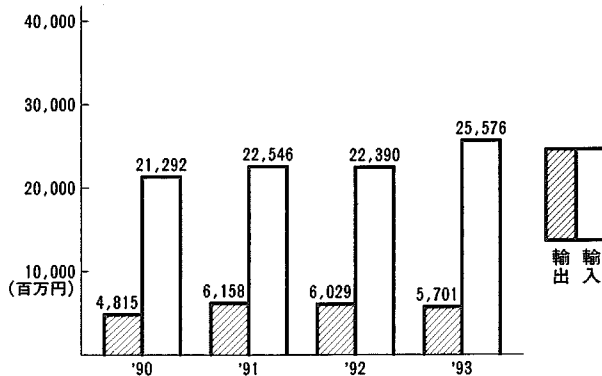


図2 CD輸出入枚数の推移

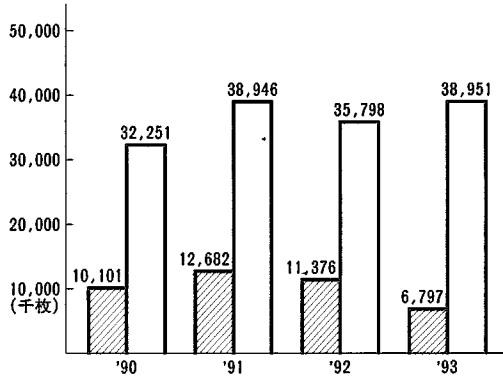


表1 アナログディスクとCDの輸出入実績の推移

西 暦	輸 出				輸 入			
	枚 数 (千枚)		金 額 (百万円)		枚 数 (千枚)		金 額 (百万円)	
	アナログディスク	CD	アナログディスク	CD	アナログディスク	CD	アナログディスク	CD
1989	109	7,110	69	3,283	5,063	37,840	3,381	19,465
1990	139	10,101	95	4,815	4,440	32,251	3,244	21,292
1991	116	12,682	68	6,158	3,729	38,946	2,467	22,546
1992	72	11,376	108	6,029	3,382	35,798	2,186	22,390
1993	72	6,797	119	5,701	3,436	38,951	1,776	25,576

表2 アナログディスク・CDの地域別輸出入実績 <1993年>

金額：百万円、数量：千枚、()内は前年比：%

国 名	輸 出			輸 入		
	アナログディスク	CD	計	アナログディスク	CD	計
アメリカ	金額 12(86) 数量 9(90)	1,532(96) 1,918(68)	1,544(96) 1,926(68)	883(90) 1,758(104)	14,348(116) 14,958(119)	15,231(114) 16,716(117)
ドイツ	金額 66(125) 数量 41(117)	452(69) 495(58)	518(73) 536(60)	112(66) 139(74)	4,456(130) 9,241(153)	4,568(127) 9,380(151)
イギリス	金額 12(100) 数量 6(75)	235(70) 208(73)	247(71) 214(73)	562(73) 886(86)	3,259(116) 4,230(166)	3,821(106) 5,116(143)
フランス	金額 5(125) 数量 4(133)	259(64) 203(57)	264(64) 207(58)	8(57) 10(71)	611(83) 610(93)	619(83) 620(92)
韓国	金額 1(100) 数量 0(-)	407(49) 821(25)	408(49) 821(25)	4(50) 9(64)	336(73) 4,405(103)	340(72) 4,415(103)
香港	金額 1(-) 数量 1(-)	1,377(155) 1,777(84)	1,378(156) 1,778(84)	1(-) 1(-)	604(184) 559(195)	605(184) 560(196)
その他	金額 22(92) 数量 11(73)	1,439(109) 1,375(87)	1,461(108) 1,387(87)	206(84) 633(140)	1,962(86) 4,948(53)	2,168(86) 5,580(57)
合計	金額 119(110) 数量 72(100)	5,701(95) 6,797(60)	5,820(95) 6,869(60)	1,776(81) 3,436(102)	25,576(114) 38,951(109)	27,352(111) 42,387(108)

(注) 1. 輸出入実績は、委託加工品 (OEM) を含む。

(注) 2. CD輸入実績のうち、レコード会社が外国契約会社から直接輸入した数量は、約4割と推定される。